

わんぱくキッズ育成施設整備事業の実施について

1. 事業の目的

(1) 現 状

南相馬市教育委員会が実施した新体カテストの総合評価(平成 22 年度・平成 24 年度)及び健康診断結果(平成 22 年・平成 24 年度の栄養状態より)によると、震災後の子どもの体力の低下、肥満傾向が顕著に表れている。

また、屋外活動の制限が解除された後も、一部の保護者の不安感は払拭されず、子どもの屋外活動は依然として低迷している。

それらは、震災後の仮設住宅における住環境悪化による生活様式の変化、学校生活における屋外活動の制限、家庭生活における外遊びへの抵抗などにより、子どもが活発に運動する機会が減少したことが主な要因であると考えられ、子どもを安心してのびのびと遊ばせる施設の整備が求められている。

(2) 対応策

市内において、低下した子どもの体力向上と肥満傾向の改善を図り、子育て家庭が安心して子どもを遊ばせることができる環境を確保することを目的として、子どもの遊びのための屋内施設を整備する。

(3) 期待される効果

本事業において、震災前からの懸案であった雨天時の子どもの遊び場を確保するとともに、震災後に生じた保護者の外遊びに対する不安を払拭する環境を整備することにより、子どもたちが震災前以上に体を動かすことの喜びや楽しみを享受できる環境を提供し、子どもの活動が活発化することによって、体力の向上や肥満傾向の改善に大きく寄与するものである。

2. 事業の概要

(1) 事業期間

平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月(供用開始予定)

(2) 事業内容

ア 設置場所

南相馬市原町区高見町二丁目 22-1 地内
(現「原町ふれあいドーム」設置敷地に施設解体後に設置)

イ 施設仕様

施 設	面 積	機能・用途
ドーム型膜素材施設（S造）	1,200 m ²	<p>（遊びのスペース） 規模：間口 30m × 奥行 40m 床面：人工芝、一部クッションフロア床張</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が雨天時においても十分運動、遊びが可能な中学校体育館と同規模の広さを確保。 ・屋根及び壁を膜素材にすることにより自然光を多く採り入れ、屋外に似た開放感を演出。 ・子どもの怪我の防止のための身体に優しいクッション性床面を採用 </div> <p>（トイレ） 一般：子ども用、大人用 男女各 1 か所 多機能：車いす用、おむつ替え用 1 か所</p> <p>（管理施設） 管理室、水道設備、空調設備ほか</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ A E D等を配置し、機能、安全性を確保 </div> <p>（屋内遊具等） 小学生向けの遊具、設備等は、アスレチック遊具など専門家や市民の意見を聴き選定</p>

ウ 事業費 284,445千円

事務担当課

健康福祉部男女共同子ども課
子育て支援係
電話 0244-24-5215